



神奈川県事業本部 1 2 3 運動ニュース NO1

第24次123運動
2012年1月11日
発行 神奈川県事業本部
(担当 田中秀)

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年までは、事業本部が主催して、横浜市桜木町の市従会館などで行っていましたが、今年、初の試みとなりました各エリアごとの123集会！！北海道と並び神奈川でも川崎エリアが1月7日の土曜日に全国での先陣を切りました。

川崎市中原区の総合自治会館で、「心と力を合わせて、がんばろう川崎！つなげよう明日へ！」のスローガンのもと、68名が参集し、7つの原則の読み合わせから本部山田専務補佐の挨拶でスタート。市議会議員、NPO理事長、医療生協役員、市職員の他、地域のケアマネジャーや整骨院院長等、外部からも15名の参加をいただき、エリアとしての提起、各事業所からの発表と進んでいきました。特にタックからは、外部も含めて25名と事業所規模から言えばびかいちの結集率をほこり、今回集会の一大立役者となりました。

また、第2部の交流会では、川崎フロンターレ武田社長の乾杯の挨拶をいただいた後、横浜汐田ラウンジピュアのオードブルに舌鼓をうちながら「弘明寺、かっぼれ女子会」の踊りを楽しみました。

来賓の方々からも、「みなさんと一緒に懇談会をもちたい」「このような集会に呼んでいただいてありがとう」「センターさんには、日ごろから質の高い仕事をさせていただいて非常に感謝している。まちづくりを一緒にすすめたい」など励ましや激励の言葉をいただきました。雰囲気も「アットホーム的でよかった」といった感想もあり、準備不足ではありましたが、新体制が図られる川崎にふさわしく、これまでの「川崎エリア全組合員集会」とは、一味・二味違ったものとなりました。生活支援を核に据えた社会連帯活動！これが123川崎のテーマです。



第1部の様子とタックの仲間

第2部乾杯とかっぼれの踊り